

常任委員会Q&A

総務委員会

開会日 11月21日(金)・11月27日(木)・12月1日(月)
 案件 議案19件・陳情1件・報告3件等

●豊島区危険ドラッグその他の危険薬物撲滅条例

問 区内における危険ドラッグ販売店の現状は。

答 10軒あった販売店が、現時点では残り1軒である。また、店舗での販売をやめた店については、都や警察と連携しこれからも取り締りを強化していく。

問 27年3月1日施行の理由は。早急に施行できないのか。

答 周知期間の徹底を図る必要がある。ただし、条例効果を有効とするため、関係機関と協力し、不動産業界の現場では、自主的な契約解除について努力義務として現在運用している。

問 区内の不動産業者が扱う他区の物件に対する考えは。

答 他区にも区の施策について説明し、同様の取り組みをしていただくように考えている。

問 子どもたちへの教育についてはどう考えているか。

答 すべての小・中学校で薬物乱用防止教室を実施し、規範意識の育成を図っている。条例制定後も、より一層の薬物乱用防止に努めていく。

●池袋第三小学校改築工事請負契約について

問 学校完成後の引越しのスケジュールは。

答 28年12月20日の完成予定な

ので、年末年始の冬休み期間での引越しを考えている。

問 工期が延びた場合の事前対策は考えているのか。

答 社会状況等をとらえ、長めに工期を設定するなどの対策をしている。

●豊島区役所のみなさんに性同一性障害をはじめとするセクシュアルマイノリティの現状を理解し、さらに施策に活かしていくことを求める陳情

問 啓発活動の実施状況は。

答 啓発講座として、区が主催で講演会や映画会を開催。職員研修としては、男女共同参画研修や人権啓発センターから講師を招き人権研修を実施している。

問 相談対応やセクシュアルマイノリティへの区の考え方は。

答 悩みの相談をすることで分らない方に対しての相談機関の案内等、周りの偏見がなくなるような意識啓発を進めることが必要と考える。

区民厚生委員会

開会日 11月27日(木)
 案件 陳情4件・報告4件等

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情

問 区内の地価公示価格の状況は。

答 平成26年の公示価格は上昇している。

問 マンション区分所有者も適用があるか。

答 小規模住宅用地に対する軽減措置は、区分所有マンション

も建物面積の案分に応じ適用がある。

問 都からは、軽減措置の恒久化の話はないのか。

答 国の税制改正や都の財政状況等を踏まえ、毎年検討すると回答があった。

●豊島区内の介護保険施設において、LGBT当事者が安心してサービスを受けられるように配慮を求める陳情

問 特養の研修内容にLGBTについて含まれているか。

答 研修では、広く人権侵害の内容の中で、施設が気をつけるべきことを学んでいる。

問 介護保険課ではこれまでLGBTに関する相談は受けているか。

答 特定した相談は、現在まで受けていない。

問 相談があった場合の対応は。

答 幾つかのNPO法人が相談窓口を開設しており、そちらを紹介し、相談内容に応じて、さらに専門的なところに繋げる仕組みとなっている。

問 人権問題の周知は。

答 区の広報等で周知を行っている。

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充についての陳情

問 医療費助成の対象は。

答 慢性肝炎や肝硬変の一部の方が対象。肝がんや肝硬変の末期の方は医療費助成はない。

問 医療費助成の目的は。

答 国の考え方では、ウイルスの根治治療にある。

問 肝硬変や肝がんに至る経緯はわかるのか。

答 ウイルス性肝炎だけが原因で肝硬変や肝がんになったのか判断することは難しい。

問 ウイルス性肝炎の感染予防策の現状は。

答 輸血検査の精度を上げることや、B型肝炎の場合は、ワクチン接種により対応している。

都市整備委員会

開会日 11月28日(金)・12月1日(月)・5日(金)
 案件 議案2件・請願3件・陳情3件・報告1件等

●豊島区東部駒込地域にコミュニティ・バスの導入を求める請願

問 区内のどこが交通不便地域か。

答 区内では南長崎、長崎地域が交通不便地域であり、最も交通についての需要がある地域である。前回の調査の後、新たな道路整備が開始されるなど、前提条件が変化しているため、改めて調査を実施し検証したい。

問 区内の交通不便地域の解消のため、コミュニティ・バスの導入を求める。

答 区全体の交通政策を検討する中で議論したい。

問 交通不便地域の解消のための手段として、コミュニティ・バス以外を地域公共交通会議では検討しているか。

答 コミュニティ・バスでは、交通不便地域の解消は難しいとの意見もあり、福祉車両、デマンド型タクシーなども含めて検討している。

問 来年度以降の、新庁舎へのアクセス手段の整備予定は。

答 新庁舎移転後のアクセス手段については、区が直接実施、もしくは他の公共交通機関に依頼するなど含め、現在検討している。

●宮坂周辺の都市計画に関する陳情

問 同時期に改正があり、かつ、同じ道路に面しているにもかかわらず、豊島区と文京区で都市計画の内容が異なる理由は。

答 用途、容積率については、広い道路の道路境界線からの距離や、地形などで変えている。当時は東京都が高度地区の境界を、両区の境とした。

問 この地域に建設されるマンションは、高層マンションか。

答 現在の建築計画では6階建てで、中高層マンションとなる。



都市整備委員会視察風景

子ども文教委員会

開会日 11月28日(金)・12月1日(月)
 案件 議案8件・陳情1件・報告3件等

●豊島区立豊島区民センター条例(一部改正)、豊島区立生活産業プラザ条例(一部改正)

問 事務室移転後のスペースを会議室とすることについて、ニーズ調査等を行ったのか。

答 行っていないが、会議室の空きが少なく予約できないという意見が多かったため、その解消策として有効と判断した。

●豊島区立体育施設条例(一部改正)

問 区民の優先利用は、条例での位置づけが不可欠なのか。

答 不可欠ではないが、区民の健康増進に積極的に取り組む姿勢を示すため、区民優先と料金減額を同時に条例で規定した。

●豊島区立子どもスキップ条例(一部改正)

問 千早児童館は廃止後、区民ひろば仮施設として利用されるが、更にその後の活用予定は。

答 複数の案を検討中である。

●豊島区立保育所条例(一部改正)

問 来年度の保育園定員総数は。

答 来年度4月の認可保育園の定員は私立も含め3,641名。

問 この改正で、地域の待機児は解消されるのか。

答 定員増により、ある程度は解消されると予測している。

問 高松第一保育園は廃止せず改修して継続利用し、待機児解消に役立てたほうが良いのでは。

答 保育室の耐震性が不足している。工事が技術的に困難で、安全性が担保できないため、現園舎を保育園として使い続けることはできない。

●豊島区立体育施設の指定管理者の指定について

問 豊島体育館は救援センターになつているが、指定管理者の受託業務との関係は。

答 救援センターとして有事の際の対応が必要である旨を、公募要項や業務基準に明記し、受託内容に含めている。

●性別違和(性同一性障害)の子どもも同性愛の子どもも共に安全・安心して学べる学校づくりを求める陳情

問 文部科学省の教員向け資料は、既に発行、配付されたのか。

答 文部科学省からは、本年度中に配付予定で現在作成中との回答があった。